

平成26年度 五泉市外国語活動部 活動報告

部長 森田 明美

1 研究主題

新教材『Hi, friends』の活用法について研修を深める。

2 研究の概要

新教材『Hi, friends』に対応した教材を、部員がどのように活用し、どのような悩みを抱えているのか情報交換した。内容に対応した教材の不足や付属ソフトの研修不足があげられた。ALT との打ち合わせの時間がなかなかとれないという声も多かった。このような実態を踏まえて、ALT と HRT の役割を意識し、時間をかけなくても有効な活動が保障できる教材を開発し、それを使った授業を検討、協議した。

3 研究の実際

(1) 情報交換(6月)

日常の活動の様子、授業の展開例やゲームの紹介、評価方法や付属ソフトの活用など、参考になる実践例をたくさん交換した。その他にも海外の方とのビデオレターや手紙での交流など、ダイナミックな活動例も紹介された。



(2) 活動案検討会(9月)授業者:五泉東小6年担任 伊藤恭子教諭

伊藤教諭は、課題に対して前向きでコミュニケーション活動を楽しんでいる児童が多い学級の中で、恥ずかしさから関わることに抵抗を感じている一部の児童にも何とか関わりをもたせたいと考えて、単元を構想した。活動単元は、『Hi, friends!2』のLesson4「Turn right」である。一人一人の児童ができるだけたくさん活動できるように紙面に、ペットボトルの蓋にどちらを向いているのかを示す「⇒」をかいたものを持たせて、1対1で道案内できる教材がよいのではないか、ペアで道案内をするという課題を設定すると、必然的に関わりをもつことになるのではないか、などの意見が出された。

(3) 授業研究(10月)

授業者:伊藤恭子教諭 ALT:Carly Merry Haden

授業は、テンポよく明るい雰囲気の中で進められた。児童が活動する前の HRT と ALT のデモンストレーションも打ち合わせがよくされていて、息の合ったもので大変有効であった。目的地まで案内するときの会話のやりとりを、いきなり英語でデモンストレーションするのではなく、日本語で確認し、必要なセンテンスを意識させ、英語では何と言うのか知りたい、という必要感をもたせてから、英会話を披露した。更にゲームやチャンツを入れながら道案内の練習を何回もやったことで自信をもって活動に取り組めた。心配していた一部の児童も終始笑顔で楽しそうに活動し、進んで道案内する相手に声をかけて関わっていた。



4 成果と課題

どの活動も、部員の悩みや今までの経験を交換し合い、解決策を一緒に考えたりアドバイスをし合ったりすることによって外国語活動のねらいであるコミュニケーション能力を高めるための知識やスキルを高め合うことができたと考える。